主催事業

「第1回 はやま森の学校」

1.ねらい

(1) 普段とは異なる自然の中での体験活動を通して、仲間と共に協力し、課題を解決し、豊かな人間性と社会性を育てます。

(2) 日常生活とは異なる場所で初めて知り合う仲間と生活し、たくましく助け合いながら生きる力を育みます。また、日常生活に感謝の念を感じてもらいます。

(3) あらゆる体験を通して、自分に付いた力や友達と協力する大切さを知るとともに、自分を更なる高みへと成長させる心を育てます。

(4) あらゆる活動において、子どもたちが積極的に取り組み様々な発見ができるよう促し、事象だけでなく、自分の新たな可能性を見いだしてもらいます。

2.実施日

6月8日(土)～9日(日)

3.対象者

小学校4年生～小学校6年生

4.募集定員／応募人数／参加人数

18人／12人／12人

5.当日のスケジュール

1日目 6月8日(土)
10:30 受付
11:00 開校式
11:30 アイスブレイク
12:30 昼食(持参弁当)
13:15 班活動
14:00 テント設営
15:30 野外炊飯(カレー作り)
19:15 キャンプファイヤー
20:15 班活動(1日のふり返り)
21:30 就寝

募集人数に満たず少人数での実施となりました。開校式では、多くの子どもたちが互いに初対面の仲間と出会い、期待と不安とが入り交じった緊張している様子が見えました。

アイスブレイクを通して、参加者の子どもたち同士、またグループリーダー、サブグループリーダーを務めたキャンプ補助員と徐々に打ち解けリラックスし、笑顔が出てきました。

続いての班活動ではキャンプ補助員を中心に、この2日間の班の目標や班長を決めました。その班の目標を達成するために個人でも1日目のめあてを立てました。

その後は、就寝場所となるテントの設営をしました。元々は野外に設営する予定でしたが、天候の都合でプレイホール内に変更となりました。

担当所員から「この空間に自分たちオリジナルの街をつくろう!」と声をかけて、テントを設営後は飾り付けも行いました。プレイホール内ということで、ペグを打つ必要もなく作業は少なめでしたが、ほとんどの子どもたちは初めての設営で苦戦しながらも協力して行っていました。

飾り付けでは、段ボールや画用紙、スズランテープといった材料を使って、子どもたちが創意工夫をして賑やかなサイトを作っていました。子どもたちもできあがった自分たちの空間を気に入っている様子でした。

続いてカレー作りをしました。野外炊飯の定番メニューですが、具材を細かく切ったり、火付けや食器の準備をしたりするなど役割分担を話し合って決め、メンバーと協力して活動を進めていました。立ち上る煙に苦戦しながらも何とか炊き上げ完成できました。

またその後の後片付けも、班ごとに協力して行いました。直火調理でついた煤や焦げ付きのある飯ごうも根気強く磨き上げている姿が印象的でした。

雨の心配がありましたが、なんとか天候も保って、キャンプファイヤーを野外で行うことができました。キャンプファイヤー中は、キャンプ補助員が行うゲームを全員で楽しみ、最後の残り火を見ながら、一日の出来事を振り返り、それぞれが明日への思いを深めました。

2日目 6月9日（日）
6:00 起床
6:50 朝の集い
7:00 朝食（ハンバーガー作り）
8:00 清掃・片付け
8:30 活動（オリエンテーリング）
10:00 昼食（注文弁当）
12:30 班活動（ふり返り）
13:30 閉校式

2日目の朝食は、ハンバーガーでした。ハンバーガーは焼くだけの成型のもので、バンズにトッピングを挟む簡単なものでしたが、子どもたちは楽しんで調理を行っていました。

朝食後はサイトの撤収しました。短い時間でしたが、お世話になった自分たちの街を綺麗に片付けました。

その後は、センターの各所をポイントに設定してミッションクリアを目指すオリエンテーリングをしました。今回は「はやまの森を五感で体験!」のテーマのもと、自然物を使ったゲームを体験しました。2日目ということもあり、各班小雨の中でも良い雰囲気でポイントを巡っていました。

また、オリエンテーリング後にはプログラムが予定より早く進んだこともあり、予定にはなかったネイチャークラフトを実施することができました。子どもたちは自然の材料を使って思い思いの作品を完成させていました。

昼食は時間の都合上、自炊ではなく注文弁当でしたが、班ごとではなくみんなで集まって和気あいあいと食事を楽しんでいる様子でした。子どもたち同士、スタッフとも打ち解けてとても和やかな雰囲気で時間が流れていました。

その後、最後の班活動では自分たちの班のめあてが達成できたかを振り返り、2日間で見つけた周りの人の良いところなども出し合いました。

そして閉校式では、キャンプ補助員から参加者全員にメッセージを添えた集合写真を渡すなど最後の時間を過ごしました。担当所員の閉校宣言を持って「第1回はやま森の学校」を終了しました。

6. まとめ

あっという間の2日間でした。少人数での開催、天候も芳しくありませんでしたが、そのおかげで参加の子どもたち同士やスタッフも距離が近づき、短い時間で仲を深めているように感じました。

帰っていく時には、初日よりもたくましい姿で、笑顔いっぱいの様子でした。このイベントでの経験を、これからの生活にどんどん活かしてほしいと思います。「はやま森の学校」をより良いものにしていくために、試行錯誤しながらプログラムの充実を図っていきたいと思います。

「第2回 はやま森の学校」
～ 協力 班で一つに ～

1.ねらい

自然の中での様々な体験活動を通じて、仲間と共に課題を解決することを大切に、豊かな人間性・社会性を育成し、たくましく生きる力を育みます。また、リーダーシップや地域に貢献できるボランティアシップを育みます。

2.実施日

令和6年8月17日（土）～18日（日）

3.対象者

小学校4年生～小学校6年生

4.募集定員／応募人数／参加人数

24名／35名／23名（1名キャンセル）

5.当日のスケジュール

1日目	
時間	活動内容
10:30～	受付
11:00～	開校式・オリエンテーション
	アイスブレイク
	昼食（持参弁当）
	活動①（目標決め 等）
	活動②（薪作り体験 等）
	夕食（野外自炊）
	キャンプファイヤー
	活動③（振り返り）
21:30頃	就寝

2日目	
時間	活動内容
6:30～	起床・洗面・片付け
	朝の集い
	朝食
	片付け・清掃
	活動④（ハイキング）
	昼食
	活動⑤（振り返り）
	閉校式
14:30頃	解散

今回のキャンプテーマを『協力 班で一つに』とし、班活動を大切にすることを目標として森の学校に臨みました。

開校式では、多くの子どもたちが初めての友達と出会い、期待と不安、緊張する様子がありました。しかし、補助員が行うアイスブレイクでの様々なゲームをすることによって、子どもたちが徐々に打ち解け合い笑顔が見られるようになりました。

班活動ではグループリーダーのキャンプ補助員を中心に、この2日間の班の目標を決め、その目標を達成するために何をしていくことが大事なのかを子どもたちが話し合いました。

次の活動の「薪作り」はセンターの丸太をチェーンソーで切り、切った丸太を手斧とナタを使って、薪と木端を作りました。普段使わない道具を使うので、補助員や所員がサポートをし、ケガに注意をして活動を進めました。

どちらの活動も子どもたちは、戸惑いながら行っていましたが、慣れてくると声をかけながら楽しそうに活動をしていました。

自炊活動は夏野菜カレー作りでした。事前の活動で切った薪と木端を使って、火起こしをしました。火付けに時間がかかりましたが、協力し合ってどの班も失敗なく作ることができました。

キャンプファイヤーでは、補助員のゲームに全員が楽しみ、最後に新たな友達との出会いから今日一日の喜び、驚きを回想しました。自炊場へ戻った後は、1日の振り返りをして、みんなで共有しました。

２日目は、山口神社までのハイキングへ班ごとに出発しました。途中、いくつかの分かれ道があり、事前に渡された写真のヒントをもとに、協力して目的地までたどり着きました。

昼食は流しそうめんで、ハイキングで疲れた体を癒やし、楽しみながら食事をしました。

最後の活動となる班でのふり返りでは、グループリーダーの補助員の声に班のみんなが、しっかりと耳を傾け、２日間を通して学んだことを出し合いました。

班ごとの発表では「仲間のために頑張れた。」、「協力できた。」など多くの意見が出され交流を更に深めることができました。

猛暑の中で、１日目の夜に数名の体調不良者も出ましたが、無事に全員最後まで活動することができました。

「第3回 はやま森の学校」
ブッシュクラフトキャンプ
～自然の物を使って生活しよう～

1.ねらい

自然の中での様々な体験活動を通じて、仲間と共に課題を解決することを大切に、豊かな人間性・社会性を育成し、たくましく生きる力を育む。また、リーダーシップや地域に貢献できるボランティアシップを育みます。

2.実施日

令和7年3月22日（土）～23日（日）

3.対象者

小学校3年生～小学校6年生

4.募集定員／応募人数／参加人数

20名／20名／20名

5.スケジュール

1日目 3月22日（土）
10:30 受付
11:00 開校式
11:30 アイスブレイク
12:20 昼食（持参弁当）
13:00 班活動
13:45 落ち木集め・スプーンクラフト
14:40 かまど作り
15:25 野外炊飯（パエリア作り）
19:00 キャンドルサービス
20:30 班活動（1日のふり返り）
21:40 就寝

第3回はやま森の学校のテーマは、『ブッシュクラフトキャンプ～自然の物を使って生活しよう～』でした。

豊かな野外活動センターの自然に直接触れることで、自然の良さを知ってもらいたいと考えました。同時に、道具を作ることや薪で火を起こして調理することの大変さを感じることで、普段の生活のありがたさも感じることのできるキャンプにしたいと考え、このテーマで実施することになりました。

開会式・アイスブレイク

所長による開校宣言のあと、所員・中高生のリーダーズ・キャンプ補助員が自己紹介をしました。緊張した表情の子どもたちが多く見られましたが、そのあとのアイスブレイクで体を動かしたり、友達と交流したりすることで、自然と笑顔に変わっていきました。その後は、子どもたちが決めたキャンプネームでお互いを呼び合い、どんどん仲良くなっていく様子が見られました。

班活動

子どもたちは4班に分かれ、それぞれの班でめあてと自分で頑張りたいことを考えました。その後、班長に立候補した子が中心になって、自分たちの班で決めためあてを発表しました。

落ち木集め・スプーンクラフト

火をつけるために、山に落ちている生木を拾いました。自然の中にある資源のため、できるだけ乾いた木を拾いました。「いろいろな太さがあったほうが燃えやすいんじゃないかな。」と話し合いながら、十分な量の木を集めることができました。

スプーンクラフトでは、スプーンの柄の部分を木で作りました。木をのこぎりで切り、やすりをかけて手触りをよくしたあと、ドリルで穴をあけ、スプーンの先を接着しました。世界で一つの自分だけのスプーンが完成すると、子どもたちは嬉しそうでした。

かまど作り・自炊（パエリア作り）

広場にレンガを並べ、周りを石で囲いかまど作りをしました。それぞれの班で協力して石を運び、バランスがとれるように話し合いながら作成しました。

その後、作ったかまどに火をつけ、夕食のパエリア作りをしました。食材を切ったり、火の管理をしたりと、子どもたちは役割分担をして楽しそうに活動しました。どの班もパエリアを無事完成させ、広場のテーブルで食べました。

キャンドルサービス

夕食後はキャンドルサービスをしました。キャンプ補助員とリーダーズのゲームを楽しみ、大いに盛り上がりました。キャンドルサービスの最後には、みんなでテーマソングを歌いました。そして一人一人のろうそくに火を灯し、願いを込めて一斉に消しました。この思い出が子どもたちの心に残ってくれることを願っています。

2日目 3月23日（日）
7:15 朝の集い
7:30 朝食（ホットサンド）
9:00 パチンコクラフト
10:00 オリエンテーリング
11:30 昼食（おでん・豚汁）
12:10 片付け・清掃
13:00 班活動
14:00 閉会式

朝の集い

起床後、広場で朝の集いをしました。キャンプ補助員と一緒に朝の体操をして、朝から元気に活動しました。

朝食（ホットサンド作り）

朝食はホットサンドを作りました。具材をパンではさみ、アルミホイルで包んで火の中に入れて調理しました。二回目ということで、子どもたちはスムーズに火をつけることができました。少し焦げてしまった班もありましたが、おいしく食べることができました。

パチンコクラフト

「自然の物から遊び道具を作ろう」をコンセプトに木を切り、ゴムをつけて昔ながらのパチンコを作りました。リーダーズが説明する作り方を真剣に聞き、自作の遊び道具が完成しました。広場で的を狙って楽しく遊びました。

オリエンテーリング

班に分かれ、オリエンテーリングをしました。今回のテーマは「集まれ！つげはやまの森」でした。4カ所のポイントに行くと吐山の生き物がおり、ミッションに挑戦しました。ミッションは、「土の中から宝探し」、「はやまの絵のパズル」、「鬼の口にミカン投げ」、「魚釣り」でした。また、場内に風船がついた的を用意し、ミッションクリアで得たパチンコの玉を使って狙うというサブミッションにも挑戦しました。リーダーズや班長を中心に楽しく回る姿が見え、子どもたちはこの二日間で本当に仲を深めたのだなと実感しました。

昼食（おでん・豚汁）

昼食はバイキング形式で、おでんと豚汁を食べました。オリエンテーリングでおなかが減ったのか、何度もおかわりをする子どももいました。最後にみんなでゆっくりと昼食を食べたことで、二日間の思い出を話す場面も見られました。

片付け・清掃

活動した場所の物を片付けたり、掃除をしたりしました。最後まで班で協力しながら、掃除をする姿が見られました。また、自分たちで作ったかまどを名残惜しそうに片付ける姿が印象的でした。

班活動

最後の活動として、班で反省会をしました。班として達成できたことや、見つけた友達のがんばりなどを出し合い、この二日間の締めくくりとしました。

閉会式

キャンプ補助員・リーダーズ・子どもたちみんなが笑顔で終えることができました。記念写真を子どもたちに渡しました。一泊二日の短い期間でしたが、子どもたちの良い思い出として残ってくれることを願っています。最後はキャンプ補助員とリーダーズで花道を作り、子どもたちを見送りました。

6. まとめ

ブッシュクラフトということで、石や木を活用して様々なプログラムを行いました。けがをしないように安全面に十分注意して行い、無事にすべてのプログラムを安全に終えることができました。子どもたちが普段、体験できないことを味わうことができる機会なので、今後も楽しめる森の学校を作り上げていきたいと思います。